

## 年度評価シート

課名 商業労政課

施設の名称 静岡市北部勤労者福祉センター	指定管理者名 公益財団法人静岡市まちづくり公社
1 履行状況	
業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。	
(1) 維持管理業務	
建築物環境衛生管理業務等については第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。コロナ禍の影響により休館となった期間を利用して、通常時に実施が難しいインターロッキングの高圧洗浄、駐車場整備、樹木剪定等を実施するなど、指定管理者の臨機応変な対応が見られた。	
限られた予算内で、感染症防止対策や修繕を適切に実施した。また、平成24、25年度において、4階男子浴槽からレジオネラ属菌が検出されたことを受け、衛生管理については、1日3回の浴槽水中の遊離残留塩素濃度の測定を始めとして、集毛器清掃消毒（毎日）、循環配管の高濃度塩素消毒（週1回）、シャワーヘッド消毒洗浄（月1回）、循環配管内高圧洗浄消毒（年1回）等、引き続き日常点検を実施している。	
(2) 施設利用者数	
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の施設利用者数は50,226人で、昨年度の93,193人と比較すると、半減となっている。しかし、3密防止のための講座定員の縮減に伴うクラス分けなどの対応により各室の平均年間稼働率については、わずか5.4%減に抑えられており良好と判断される。	
フィットネスの個人利用についても、人数としては6割減であったが、トレーニングマシンを更改したこともあり、利用者の満足度は向上した。	
また、インターネットによる講座申込受付や受講料の口座振込対応を開始するなど、利便性向上に努めている。	
(3) 事業実施状況	
パソコン・フィットネス講座等の事業や各種イベントについては、コロナ禍の影響等により、4月から6月まで予定していた講座を中止したため、指定事業フィットネス講座については、指定回数を実施することができなかったが、その影響を除けば、事業計画に則って適正に実施されている。また、自主事業として、市のはり・きゅう・マッサージ施術費助成を活用した「無料マッサージ体験」、恒例開催となった静岡を巡るシリーズ「静岡の神社・仏閣を巡る」、プレミアムフライデー企画「理学療法士に学ぶ効果的なトレーニング講座」、外出自粛からの産後うつ防止のための「産前産後ケア教室」、エイベックスと協働した「幼児向けダンス講座」など、多くの講座が実施された。内容についても、利用者のニーズをくみとり、より実用的かつ魅力的なものとなるよう工夫している。	
主な指定事業の実施状況は以下のとおり	

ア パソコン講座

指定回数36教室

実施回数39教室（前年50教室）

延べ受講者数1,009人（前年1,614人）

イ フィットネス講座

指定回数36教室

実施回数27教室（前年25教室）

延べ受講者数1,811人（前年3,565人）

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの意見・要望に対しては概ね適切な対応がとられており、即時の対応が困難である要望に対しても当課と連携して適正な対応がなされているといえる。

[具体的な意見・要望と対応状況]

要望：コロナ感染状況の悪化による全館休館要望

対応：公共施設に相応しい安全・安心な利用環境を提供するため、市と協議した上で、5月末まで休館にした。

要望：全利用者のマスク着用要望

対応：熱中症予防や酸欠等による事故防止の観点から、当初、運動中のマスク着用は任意だったが、マスク着用の義務化を望む声が多く寄せられたため、全ての利用者においてマスクの着用を義務化した。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

施設利用者に対して満足度調査を行った結果、職員の対応について、約89.7%が「とても良い」「良い」、施設内清掃整頓について約97.2%が「行き届いている」「普通」と回答しており、利用者の多くにとって適切な施設運営がなされているといえる。

また、「施設を再度利用したいか」の問いに対して、「利用する」が約91.3%であり、利用者の意見・要望が講座運営等に概ね適正に反映されていると評価できる。

(2) 市民アンケート

施設利用者に限らず、一般市民が来場するイベント（ミニミニ七夕まつり）においてアンケート調査を実施したところ、静岡市まちづくり公社が管理する施設において、北部勤労者福祉センター（ラベック静岡）の認知度は17施設中4番目であった。

今後も更なる広報活動による認知度上昇に期待したい。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況については、概ね予算のとおりにより執行されており良好である。

ただし、収益を上げる自主事業が中止されたことにより、収入合計65,464,688円に対して支出合計78,517,250円であった。聴取によるとコロナにより自主事業を開催できなかったことが原因であり、構造的に赤字が発生する状況でないことが確認された。開催方法の工夫などにより自主事業を再開していくことによる収支状況が改善されることを期待したい。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

《新型コロナウイルス感染症への対応》

新型コロナウイルス感染症への対応については、市の要請に基づき、適切な時期からイベント等の自粛や施設の休館等の対応が図られた。

この際の利用者への周知については、速やかに館内掲示板での周知やホームページでの周知を図る等、適切な時期・方法によって行われている。

また、利用者への利用料金の還付についても、市が示した方針に則り、利用者の混乱なく実施されている。

総括として、施設の管理運営については、事業計画等に基づき適切に実施されており、施設は良好な状態に管理され、運営も良好に行われている。